

授業科目名 <英訳>	心理臨床学講読演習II Reading in Clinical Psychology II	担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 立木 康介 学生総合支援センター 講師 古川 裕之								
配当 学年	修士	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 後期	曜時限	火2	授業 形態	講読演習	使用 言語	日本語
共用科目											
[授業の概要・目的]											
<p>本演習では、心理臨床とその周辺分野に関連した邦文、欧文の文献を講読し、心理臨床の理論的な背景について習得するとともに、心理臨床を他領域から見直す。このことを通して、各自の問題意識の深化とともに、論文作成へとつないでいくことを目的とする。</p>											
[到達目標]											
<p>自らの関心を持つ事柄について理論的背景を把握し、文献を通じてさらに問題意識を高められるようになることを目指す。また、その習熟を基礎に論文作成が可能となることを目標とする。</p>											
[授業計画と内容]											
<p>第1週 オリエンテーション：心理臨床の文献とその周辺 第2週～第15週</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 基礎文献の講読とその理解 2) 心理臨床と他領域との関連を考える 3) 文献の検索・講読から論文へと発展させる <p>以上の3つの柱をもとに、個人あるいはグループで発表をおこない、ディスカッションする。各自最低1回の発表をおこなう。</p>											
[履修要件]											
<p>受け身ではなく、積極的に文献に向かう態度が要求される。</p>											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
<p>出席、発表、授業態度、その他適宜課されるレポートをもとに、総合的に評価する。自らの問題意識に対していかに能動的にかかわるかを評価の基準とする。</p>											
[教科書]											
<p>授業中に指示する</p>											
[参考書等]											
<p>(参考書) 授業中に紹介する</p>											
[授業外学習(予習・復習)等]											
<p>発表はもちろんであるが、授業以外に文献を読み、議論し、発表へとまとめておくことが要求される。</p>											
(その他(オフィスアワー等))											
<p>授業においてとりあげられる文献をあらかじめ各自が読んでおくこと。</p> <p>オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。</p>											